

ワークプログラム【困りごと一覧】

発災後	誰が	どこで	何に困っているか	
1	3日	障がい者	避難所	車イスを利用しているが、避難所がバリアフリーになっていないため、段差が多く移動ができない。
2	3日	自閉傾向のある子ども	車中	福祉避難所は身体障がい者優先のため順番待ちの状況。発達障害がある子どもが不安定になっており、周囲に迷惑をかけるのが心配で、指定避難所には避難できない。家族で安心して避難できる場所がなく困っている。
3	3日	乳幼児のいる女性	自主避難所	支援が入りにくい小さな指定外避難所に逃げている。支援物資やお湯がなく、離乳食などが作れずに困っている。
4	4ヵ月	子ども	仮設住宅	公園や学校の運動場が仮設住宅になっているため、遊び場がなく、ストレスが溜まっている。
5	4日	大学生	自宅	1人暮らしをしている自宅の食料がなくなり、食料を調達したいが、どこでもらえるか分からない。日ごろ防災訓練にも参加しておらず、最寄りの避難所がどこかも分からない。一部家電なども壊れてしまった。
6	1週間	乳幼児を連れた女性	避難所	授乳スペースがなく授乳しづらい。授乳の際に男性にジロジロ見られるのが嫌で、授乳ができなくて困っている。
7	1週間	女性	避難所	生理用品やおりものシートが避難所にもなく、またコンビニなどでも売っていない。衛生状態が悪いため、体に症状がでている人もいる。
8	1週間	外国人住民	避難所	避難所運営者にお祈りの重要性を理解してもらえず、避難所にお祈りが出来る場所がなく苦痛を感じている。
9	10日	70代単身の女性	避難所	段差のある仮設トイレしか利用できず不便である。膝が悪く、杖や補助器具を使っているのに、和式のためうまく用が足せない。その体勢では踏ん張れないため、被災3日後以降、排便は出来ていない。
10	10日	50代女性	避難所	男性は有償の災害ごみ撤去のボランティアをしているのに、女性は無償の炊き出しを3食分させられている。女性被災者たちはみな、疲弊して不満をため込んでいる。3食とも避難者自身が炊き出しを実施している。
11	3日	行政職員	避難所	避難所での対応をしているときに、在宅避難している人が避難所に「お弁当が欲しい」と言いに来たが、食事を避難所外に避難している人にも提供すべきかどうか困っている。もし食事提供したい場合には、どうしたら良いのか分からない。
12	2週間	母子家庭	避難所	DVから母子で逃げてきたため、夫（父）が避難所に来るかどうか不安で恐怖を感じる。
13	2週間	トランスジェンダー	特になし	避難生活中に薬（ホルモン剤）が切れてしまわないか心配。生命の危機ではないと思われているせいか状況を訴えても対応の重要性が低く扱われてしまい、尊厳が傷つけられて辛い。
14	2週間	食物アレルギーのある子ども	避難所	ボランティアが炊き出しを避難所周辺で提供してくれているが、メニューに入っている食物が分からないため、結局食べる事ができていない。
15	2ヵ月	女子高校生	避難所	家族に心配かけたくなく、性的被害にあったことを言っていないが、夜に避難所周辺で痴漢にあってしまった。避難所で安心して生活できない状況が続いている。
16	2ヵ月	糖尿病の被災者	避難所	糖尿病で、かつ入れ歯を使用しているので、行政職員にお粥や減塩食の導入を求めたが、その時対応した職員に、特別対応はできないと言われた。現場に来る職員は日替わりでリーダー的な人もおらず、どうしたら良いか分からない。
17	5日	障がい者	避難所	頸椎損傷で車イスを利用している。トイレに行く度に介助が必要なのに、避難所で介護ができる職員が少ないため、トイレに行けず困っている。
18	2週間	30代	自宅	シングルマザーだが、3歳の子どもを抱えながらでは自宅の片づけが進まず、仕事もできずに困っている。自宅の応急危険度判定は黄、保育園は休園中である。
19	6ヵ月	50代男性	自宅	工場が被災し廃業してしまったため収入がない。新しい雇用先が見つからず、経済的にも大変困っている。自暴自棄になり、朝から一日中飲酒するなど、アルコール依存症のような状態になっている。
20	5日	70代女性	避難所	避難所にベッドがなく、床が固いことから腰を痛めてしまった。また一人あたりのスペースが2㎡（畳1畳）程度しかないため、うまく寝がえりも打てず体が痛い。
21	3日	聴覚障がい者	避難所	すぐに逃げられるように、発災後からずっと補聴器をつけたまま就寝している。しかし補聴器の調子が悪く大きな雑音が機械から出てしまうため、他の避難者からクレームがでている。

ワークプログラム【困りごと一覧】

発災後	誰が	どこで	何に困っているか	
22	3日	精神障がい者	避難所	日頃、うつ病で通院している病院が被災して通院ができない。精神安定剤、睡眠薬など常備薬が得られず、体調が悪化している。
23	5日	被災住民	物資配布場所	一回につき、多めの物資を持って帰る人がいるなどとして、物資の取り合いでケンカが始まってしまったがどのように物資管理をしたら良いか分からない。
24	1週間	被災者	避難所	トイレがかなり汚れていて掃除がされていない。周囲で下痢になった人が何人か出始めていて、不安を感じる。
25	10日	高校3年生	避難所	自宅が全壊し、受験勉強に使う教科書や参考書が家のなかにあり、勉強が進まない。また、通っている高校自体も避難所になってしまい授業が再開していない。さらに、避難所では日中子どもたちが残されているため（親たちが片づけに行ったり、勤務をしている）相手をしなければならない、また勉強するスペースもなく、勉強できない。
26	10日	80代夫婦	給水所	給水が停止し、エレベータなしのマンションの3階に水を運ぶのが大変だが、水が不足して困っている。
27	1ヵ月	糖尿病80代女性	避難所	避難所で糖尿病の人向けの食事が用意されないため、支給される高カロリーのお弁当で体調を崩している。
28	2ヵ月	みなし仮設入居希望者	避難所	周りの人が続々と行先が見つかり退所する中で、希望条件に合う物件が見つからず、焦っている。車がないため、自宅から離れた物件になってしまうと、家の片付けもできなくなってしまう。どうしたら良いのか。
29	7日	自閉症の子どもの家族	自宅	子どもは特別支援学校に通っており、災害時も支援学校に避難することになっていた。しかし、学校自体が被災してしまったため、行先がなくなり、途方に暮れている。被災した家にこのままいるのは不安で、車もないが、どこに避難すれば良いか。
30	6週間	外国人男性	教会	日本語が分からないため、必要な災害情報の収集ができず、状況把握ができない普段通いなれている教会に集まっている。
31	5日	自主防災会長	避難所	様々な対応に一人で追われており、休む暇もないため、心身ともに疲弊してしまっている。
32	7日	車中泊をしている人	車中	避難所に居れば手に入る情報が、全く手に入らず困っている。
33	10日	80代女性	自宅	寝たきりの状態なので、発災前は訪問入浴サービスを利用していたが、事業所がサービスを休止したため入浴できずとても困っている。
34	3日	乳幼児の母親	避難所	母乳で保育していたが災害によるストレスで母乳が出なくなってしまったので、避難所にある粉ミルク・液体ミルクを使用したいが、使ったことがないので正しい使用方法がわからない。
35	2ヵ月	住民	自宅	雨漏りが続いたことでカビが繁殖してしまった。ブルーシートは配布されたが、屋根に展張することができない。
36	2か月	80代女性	避難所（自宅は全壊）	これまでは自宅の庭いじりや家庭菜園をしていたが、避難所に入ってから動く機会がめっきり減ってしまった。日中にすることがなく、体を動かさないため、2か月で5kg以上も太ってしまい、体調が心配。
37	4ヵ月	高齢単身女性	仮設住宅	対人関係が苦手でひきこもりがち。そのためイベントが多すぎることについて、外部団体やボランティアに不満が溜まっている。賑やかすぎて落ち着いて生活ができなくて困っている。
38	3ヵ月	個人商店の店主	自宅（商店）	被災した店の片づけをするのにボランティアの要請したいが、個人宅が優先と聞いた。人手は必要だが、ボランティアにもお願いできずに困っている。
39	5日	ペットがいる避難者	避難所	ペット（犬）が体調を崩しているが、近隣の動物病院は全て休診で、今後どう対応したらよいか分からず困っている。まずは人への対応が最優先であることを考えると、避難所の運営本部にも、ペットの対応の相談ができない。
40	2週間	50代男性	自宅	地震によって、自宅に「赤紙」（応急危険度判定において「危険」を意味する）が貼られたので、解体をしようと思っているが費用の補助について知りたい。
41	1週間	女性	避難所	他の避難者にジロジロ見られるなどプライバシーが気になり、下着などの洗濯物を干すことができない。
42	3日	外国人	避難所	同じ避難所の日本人から「外国人だから」という理由で盗難の疑いをかけられ、一方的に怒鳴られるなど辛い思いをしているが、まだ日本語が十分に話せず、疑いを晴らせないでおり、避難所で安心安全に生活できていない。
43	5ヵ月	障がい者	自宅	地震で屋根瓦の一部が壊れ、瓦がずれて雨漏りしているが、足腰が不自由で、自分で自身で対応はできない。災害ボランティアセンターもすでに閉鎖していて、どのように対策を取ればいいのか分からず困っている。